

ぐるり

事務所では洋服、おもちゃ、お皿、茶碗などのリサイクル品（かなり安い！！）とわかめ、黒豆、昆布などの食品品やメーカー品の靴下を販売しています。また、近隣のお祭りなどでバザーを出店し、リサイクル品の他に、大学芋（作り方がユニーク！！）やカキ氷などもしています。1度お越しになり、掘り出し物を探してみてください。※月曜、祝日は定休日



コミュニティサロン

毎週水曜日に、地域の方と共に昼食を作って食べています。その家庭での味付けや調理に違いがあったりして“へえ～、そんな工夫もできるんだ”“今度家でも作ってみよう”などの声も聞けて楽しく過ごしています。みんなで一緒に楽しくおしゃべりしながら昼食を食べましょう。



すみかサロン

年に数回小規模の勉強会をしています。1月24日には、あけぼのセンターの谷川正祝氏と当事者の方をお迎えし、精神障がいに対する理解を深めていくためにみなさんでディスカッションをしました。

参加された方は「当事者の話が聞けてよかった」などの意見、当事者の方は「自分の障がいを分かってもらえた」という意見があり、お互いにとってとても充実した勉強会になりました。



↑みんなで円になり当事者の方のお話を聞く様子。

新しい職員と過ごす事務所での日々

昨年4月、すみかでは初めてとなる常勤職員がやってきました。彼は学生時代からたくさんボランティアで来てくれていて、新社会人になるに当たって、まだまだ小さいNPOであるすみかを選んでくれました。そんな彼と事務所で一緒に仕事するようになり、1年に満たない現在でもいろんな発見がありました。

彼は学生時代から、動作法に対してとても熱心です。だからこそ彼を信頼し、雇用し、もちろん今も頑張ってくれています。なので、あまり考えたことがなかったのです、彼がとてもとても“無口”だということに…。工作中、業務上必要なこと以外に口を開くことはほぼありません。別に仲が悪いわけではなく、沈黙が苦にならない二人なので、会話が少ないその空間も意外に心地良いのです。そして昼食休憩、やはり静かにご飯を食べます。食べる時は食べることに集中、彼には余分な会話は要らないようです。そしてほっとのお客様がお越しの時、さすがに彼も喋ります、一生懸命な感はアリですが。

そんなコミュニケーションが若干苦手な彼ですが、その一生懸命さが伝わるのか、ほっとのみならずすみかにお越しの方々には愛される存在となっているようです。特に地域のオバサマ達には、一昔前のイケメン的な風貌もプラスに作用するのかとてもかわいがられています。こうして多くの方の温かい目に見守られながら、彼は今日も頑張っています。

ん？イヤイヤ、彼はこれからもっともっと活躍してもらわねばならぬ人材です。たくさんの方のお役に立てるよう、皆さんからも厳しくビシビシご指導下さい。な、西任。

(代表理事 芹田洋志)